

推進会議の推進のためにー毎熊メモ

島根大学 毎熊浩一

I. 「成果物」試案私案

1. 最終形：「UI ターンしたくなるまちづくり」と題した文書（提言 or 報告 or ?）

- ①第1部：高校生目線の...
- ②第2部：移住者目線の...
- ③附属資料：WS マニュアル

2. 1 を作成するための取り組み

- ①実践：例えば、ワークショップ（WS）
- ②分析：アンケート等に基づき

II. 一定の合意ー議事録から

- 1. UI ターン関係者から意見聴取をした方がよい
- 2. 何らかの「実践」はすべきであろう
- 3. せめて（「提言」無理でも）マニュアルを

III. 今後の課題

1. 実践：WS：誰を対象に、どんなWSを、どの程度、やるのか？

- ①対高校生：(1)広げる ex. 無作為抽出 (2)深める ex. 前回の高校生による模擬審査会
- ②対移住者：誰？

2. 分析：既存アンケートは使えるか？ 新たにやるのか？ 【参】資料「H29 移住者分析」

3. マニュアルづくり：自生的な「実践」を促すために...